

名家連ニュース

平成 23 年 12 月 12 日 (月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 182 号

愛知県の福祉医療制度改悪に「待った！」

— 名古屋市議会 全会一致で意見書を議決 —



愛知県が「行革」の名のもとに示した「重点改革プログラム（案）」は、子ども、障害者、母子家庭などの福祉医療費に一部負担金を導入し、市町村との協議を経て平成 26 年度に新制度を実施することを明記しています。

先に開催された有識者会議では県が示した 8 項目の対象事業を①妥当②再検討のみで判定し、また、委員の選定も行革に賛成する企業や有識者で構成されるという極めて偏った、県民無視の会議内容でした。（傍聴者した障害者団体の共通の怒り、感想）

こうした状況のもとで名古屋市議会が 7 日に議決した意見書は「福祉医療制度の見直し」について「県の制度として堅持」するよう求めています。



— 骨格提言を尊重した総合福祉法の制定を！ — — 長野県議会が全会一致で意見書議決 —

長野県障害者運動推進協議会が請願を提出し、健康福祉委員会で口頭陳情を行ないました。これを受け、長野県議会は 9 日、全会一致で意見書を議決しました。

意見書は障害者制度改革推進会議が提出した「骨格提言」を最大限に尊重することや十分な予算措置を求めています。

現在、愛知障害フォーラムにおいても、同様の意見書を「愛知県議会」「名古屋市議会」で議決して頂くよう現在進行形で各党派との懇談要請をしています。

— 精神障害者も他障害同等に名古屋市のスポーツ大会に参加 — — 名古屋市障害者スポーツ大会 実施要項改正 —

今日まで「市障害者スポーツ大会」は、身体障害や知的障害が対象でした。「バレーボールを広める会」の地道な活動実績や家族会の 3 障害同等の施策実現の要望等もあり、10 日の「市スポーツ大会主催者会議（名家連もオブザーバーで出席）」において、来年度大会より精神障害者も参加対象とすることが決定されました。

今後、名家連は市スポーツ大会の主催者団体、「広める会」も委託協力団体として参加することになりました。



「障害者週間記念のつどい」お礼とお詫び

映画（人生ここにあり）
講演（大熊一夫氏）
コンサート（新垣勉氏）

は、午前・午後も主催者の想定を超える参加者でした…消防法で 500 名以上は入場することができず、諦めて帰られた当事者、家族の皆様には心からお詫び申し上げます。